



「ONE TEAM」でした。チームは史上初のベスト8進出を決め、この言葉は昨年の新語・流行語大賞に選ばれました。

青柳田鶴子先生の文章です。

公益社団法人「ABCジヤバン」
が新型コロナウイルス感染拡大防
止に向けて、テレビCMを放送し
ました。

自分もかかりたくない
同じくらい

誰にもうつしたくない
あなたのコロナ対策が
みんなを救う

このキャッチコピーを見て、石川洋先生から頂いたお言葉が蘇ってきました。

あなたの
コロナ対策が、
みんなを救う。

コロナという 現代人の業

自分のために用意された歯車など一枚もないけれども周りのために役立とうと動くならばその歯車は全体を動かす

昨年秋の「ラグビーワールドカップ2019日本大会」では、日本代表の約半数が海外生まれの選手でした。そこで、同じ桜のジャージに身を包み、日本のために一致団結して戦うためのスローガンが

小刀こがたを使うのもぼくです。大事な仕事は、みんなぼくがやるんです。左手はいつも樂をしていますが、ぼくは働き者です。」おとなしい左手は黙つて聞いていました。ある日、一郎くんは自転車で走つていて転んでしまいました。アツと思った時には、すりむいた左手から血が流れています。病院へ行くと、先生は傷口を縫つてから、ぐるぐると包帯をして下さった。

左手がノートを押さえてくれないからです。工作の時間には彫刻をすることになりました。右手は小刀を使えるのですが、左手が彫る板を押さえてくれないのですから、どうにもなりません。

何でもできると思っていた右手は、左手が助けてくれなかつたらこんなに困るとは思いもしませんでした。自分だけでは半分の仕事をできないのです。「いつも黙つ

ます。「すべての人がそれぞれの現場で精いっぱい生活することが、結局は国全体をよくすることになる」という意味です。

現在のコロナ禍は、現代と現代人の背負うべき業だと考えます。時代を動かす特効薬などではなく、一人一人が「全体のために」どう生きるか考え、「全体のために」肃々と実践することのみが、業を背負う唯一の道だと思うのです。

「ぼくは右手です。ぼくはいつも役に立っています。ご飯を食べる時お箸を使うのも、勉強する時丁寧ピツを持つのも、工作の時間に

次の朝、顔を洗おうとしましたが、うまくいきません。水をすくつても、片手ではいつも半分まぐろくえないので、服を着るのに時間が倍もかかるてしまいました。ご飯を食べる時には左手でお茶碗を持ってくれないものですから、ボロボロとこぼしました。

「帯をぐるぐる巻かれてじつとしている左手をなでながら、右手は言いました。「こめんよ、いつも君をバカにして。」

左手がケガをしたおかげで、右手はやつと自分の考え方間違つていたことに気がつきました。

「人は上がり上がりて落ち場を知らぬなり」と、蓮如上人も教えて下さっています。

てぼくを助けてくれていた左手に、偉そうなことを言って悪かったなあ。」と思いました。白い包帯をぐるぐる巻かれてじつとしている左手をなでながら、右手は言いました。「こめんよ、いつも君をバカにして。」

左手がケガをしたおかげで、右手はやつと自分の考え方が間違っていたことに気がつきました。

「人は上がり上がりて落ち場を知らぬなり」と、蓮如上人も教えて下さっています。

報恩講 令和1年12月5・6・7・8日 全9座 法話・公演は、亀井鑑師、本多雅人師、すずきのやすひと&めぐ、藤原千佳子師、人形劇団すずきじゅく、模山正樹師。新本堂落慶1周年・2回目となる報恩講は、たくさんの方がみんなで作り上げる総力仏事となりました。

行事写真報告

昨年12月から
今年6月まで



新年修正会

令和2年1月1日 新年事始め式。正信偈、各方面よりご挨拶、お屠蘇乾杯の後、同朋会館でお抹茶接待。振り袖姿の娘さん方がお運びをして花を添えました。

**味噌作りの会**

一度口にしたら二度と市販品に戻れない手作り味噌を作ります。

2月4日

2月13日

2月6日

2月22日
64名参加 使用大豆172.5kg

2月10日

子ども日曜学校・餅つき

1月19日

本堂建設委員会がすべての役割を全うし解散されました



2月19日

平成27〈2015〉年10月10日発足から4年半、皆さまのご理解ご協力を得て、本堂建設と御遠忌法要を立派に成し遂げて下さいました。記念誌の完成と配布、決算報告をもって任期は満了。ただこの間、副委員長・監査・顧問の4名が亡くなりました。最後の日、委員会で追弔会を勤め、会費制のささやかな弁当で打ち上げ。建設委員さんと、当事業に関わって下さった全ての方々に心より御礼申し上げます。



感染症拡大防止の
ために法要のみの
開催。法話・抹茶
接待・お斎すべて
なくなりました。



3月19・20日

その② どんごろ文庫

坊守がお嫁に来てから、子どもの時期にたくさんの本を読んで、お話を聞いて育つことがとても大切な根育てになると「どんごろ文庫」と名付けた本のコーナーを設置しました。平成28年秋に始まった本堂建設工事により、すべてが倉庫で眠っていましたが、この度、本と今までの子ども会活動の写真の整理もして、本堂北の回廊に文庫復活となりました。ぜひご利用下さい。



その③ 掲示板アート

本堂内にある行事写真や法語、俳句などの掲示板を、住職の姉・近藤文子氏が季節ごとのペーパーアートで飾って下さいます。近づくと思わぬ妙技に感嘆します。



坊守がお嫁に来てから、子どもの時期にたくさんの本を読んで、お話を聞いて育つことがとても大切な根育て

→ 4月と5月の行事予定表。白抜き文字の行事が活動停止。その中でも、何とか本堂にはお参り頂きたいと新しい取り組みが生まれました。

本龍寺行事表 4月号	
令和2年4月号(2020年4月) 営業時間午前9時~午後5時 TEL:0564-92-5212 FAX:0564-92-5212	
開催日(曜)	開催時間
2日(木)	13:00
7日(火)	13:30 19:30
9日(木)	13:30
10日(金)	13:30
11日(土)	13:30
12日(日)	13:00
14日(火)	13:00
15日(水)	13:30
17日(金)	13:30
18日(土)	13:00
19日(日)	13:30
21日(火)	13:30
23日(木)	13:30
24日(金)	13:00 16:00 17:30 18:30
30日(木)	20:00
※白抜き文字の行事は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止いたします	
※実施する行事も、随時・随機的・随時で、変更・休止を微細に開催とします	
感染症対策に努めましょう!	

本龍寺行事表 5月号	
令和2年5月号(2020年5月) 営業時間午前9時~午後5時 TEL:0564-92-5212 FAX:0564-92-5212	
開催日(曜)	開催時間
1日(金)	13:00
2日(土)	13:30
4日(木)	13:00
7日(木)	13:30
9日(土)	13:30
10日(日)	13:00
12日(火)	13:30
15日(金)	13:30
16日(土)	13:00
18日(火)	13:30
20日(木)	13:30
21日(金)	13:30
23日(日)	13:30
24日(月)	13:30
27日(木)	13:15
28日(金)	13:00
31日(月)	13:00
※白抜き文字の行事は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止いたします	
※実施する行事も、随時・随機的・随時で、変更・休止を微細に開催とします	
日本語学習会の開催は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止いたします	
※開催場所の変更になりました お近くの旅館・旅館、お宿、お宿等で開催いたします お問い合わせください お問い合わせください	
本堂へお参り下さい	

その① チチ法語

お寺は仏語に出会うところ。誰もいない本堂でも仏法に出会えるよう、

おみくじ風のカゴを作りました。各紙片にはすべて異なった法語（約200種類）が書いてあります。一人1日1枚手に取れば、今必要な言葉にきっと出会えるでしょう。



6月より法話会が再開されました。当面はマスク着用、三密を避け、着用、時間での開催となります。月に一度は教える場に身を運びます。

定例法話会
再開します

新本堂と日本堂をデータにより詳細に比較してみました



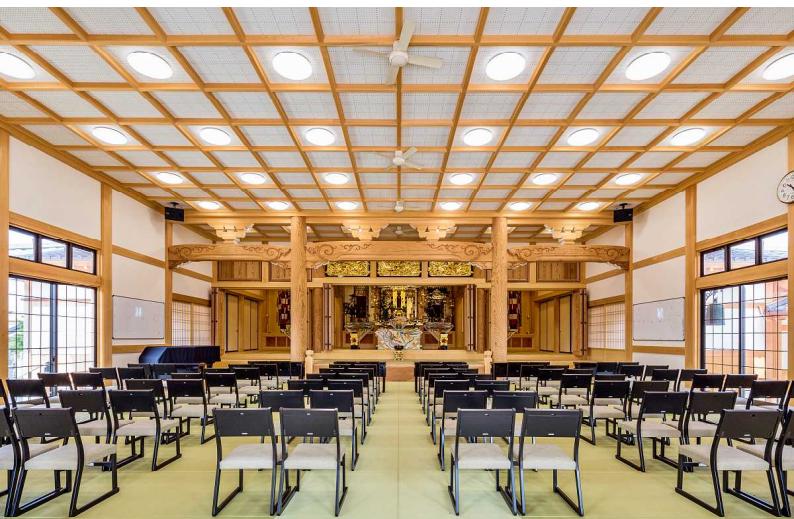
石灯籠を同じ大きさ見えるようにして比較。新旧本堂とも西端はほぼ同じ位置なので、建物の奥行分（新23.04m - 旧15.83m =）7.21m手前に位置しました。間口は（新13.44m - 旧11.21m =）2.23mしか違いません。境内全体のバランスから新本堂は南に移動し、少し南向きになりました。これは明治期建立の前々本堂と同じ位置になります。



墓石が同じ大きさ見えるようにして比較。屋根高に大きな違いがないのは、日本堂下の土盛りを撤去し、参詣席床高比較で1.2m低く新本堂が建設されたため。床下空間確保のため、実際には3m近く地盤すき取り工事が行われました。



周辺建物が同じ大きさ見えるようにして比較。建築面積は（新522.36m² ÷ 旧234.86m² =）約2.2倍。新本堂は北側の同朋会館や庫裏と平行に建っていることが分かります。縦長の本堂を実現するために撞木(しゅもく)屋根を採用しました。



参詣席は（新 154.83m^2 ÷ 旧 81.95m^2 =）約1.9倍の広さに。屋根の骨組みを合掌トラス構造にすることで中央に柱のない広い空間を確保。天井高は4.83m、8畳用LEDシーリングライトを42個設置、サッシも全面二重ガラスで明るくなりました。最大250並ぶ椅子席を前提に50cm高に設定した外陣（げじん）を舞台に多目的ホールとしても活用します。



新役員紹介

■第30代同朋婦人会



沓名喜美子
神谷昭子
林智子
石川みつ代

兵藤茂子
早川かよ子
早川由美
神谷喜美子

早川 裕子
川口 芳子



会計 会計 副会長 会長 会計
松本由香理 宮田照美 杉浦高子 神本絹代 神本洋

正信会



副会長 会長 会計 会計 会計 副会長 会長 会計
資名亨子 早川清子 坂口すみ子 杉浦好子 兵藤安子 資名眞知子 石川啓子 都築ひろみ



代表 云 副会長 会長
石橋みさ子 新海和子 脇名笑美子 杉浦陽子

本龍併壇

お寺や仏事にちなんだ歌をお寄せ下さい。本堂内の南掲示板は投句コーナーです。ぜひご覧下さい。

が あ
き と

10 王 筵

第71号をお届け致します。本堂建設委員会の副委員長であり元責任役員の早川道久さんが昨年10月に亡くなられました。道久さんは若いころ

より俳句に新しまれ 法名・俳号は「道雲」、今年5月に亡くなられた奥さまの峯子さんとともに、本龍寺のためにいつも一生懸命ご尽力下さいました。この俳句は、立派にそびえ立つ本堂の瓦葺き屋根にお二人の面影を感じられた俳句の弟子の早川正博さんが詠んで下さいました。
(頬)

